

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

(実施期間：令和2～令和7年度)

実施機関：鹿児島大学（総括責任者：佐野 輝）

取組の概要

本事業「WiSH PLUS」は、女性・若手研究者の先端的な研究力及び国際力を向上させ、優秀な研究者を増やすことを目的に、総合的キャリアマネジメントとして次の取り組みを実施する。

- ・Potential：海外研修支援や研究力向上アドバイザー制度等により女性・若手研究者の意欲を喚起し、能力を最大限に発揮させる。
- ・Leadership：異分野融合の共同研究や大型種目チャレンジ支援並びに「研究教授、研究准教授」制度の創設等により若手研究者を育成しつつ、女性研究者の研究力の強化及びマネジメント力の向上を図り、リーダーシップを発揮できる支援をする。
- ・Unity：学長のリーダーシップのもと、教員公募や女性研究者在籍状況等の管理等により、全学一丸となってダイバーシティ研究環境の実現に取り組む。
- ・Sustainability：女性・若手研究者国際シンポジウムや本学の基金等の活用により、継続的なダイバーシティ研究環境を構築する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	a	a	b	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

大学進学率の男女差が大きいという地域特性を踏まえつつ、機関の現状分析を詳細に行い、大学を挙げて女性研究者や若手研究者の活躍を推進した。学長のリーダーシップの下、研究環境整備、研究力向上、復帰・復職支援、次世代育成等の取組に加え、上位職、管理職への女性の登用、国際的に活躍できる女性研究リーダーの育成を進めた。女性研究者の上位職昇任を支援する「研究教授・研究准教授制度」の構築、スタートアップ研究費助成を行う既存の「異分野融合研究プロジェクト創出研究助成事業」における女性枠や若手枠の創設、教育研究評議会への「女性評議員枠」の設定、女性教員定年退職後のポストの女性限定・優先公募の実施等、意欲的かつ先進的な取組を実施したことは評価できる。今後は、意欲的な取組の成果が具体化し、女性研究者在職割合や上位職教員の女性割合の大幅な上昇に繋がるよう期待する。

- ・**目標達成度**：男性教員数が大幅に減少する中、女性教員数は一定数を維持しており、最終目標の達成に向け着実に実績を挙げていることは評価できる。教員数削減が進められる中、先進的な取組の成果を具体化し、女性研究者採用割合30%以上の目標を達成することを期待する。
- ・**取組**：「研究教授・研究准教授制度」、「大型種目チャレンジ支援」、「異分野融合研究プロジェクト創出研究助成事業」等の斬新な取組を、女性研究者はもとより若手研究者も対象として実施し、高い研究業績を有する女性・若手研究リーダーの育成に繋げており評価できる。全ての教

員公募を原則、プラスファクター方式あるいは女性特化・限定公募とし、また、女性教員の定年退職に伴う後任人事を女性限定・優先公募とする取組は実効性の高いポジティブ・アクションとして評価できる。

- **取組の成果**：研究力向上を目指した多面的な取組の実施が、女性・若手研究者の研究成果創出に繋がっており、また、評議員の女性割合が大幅に上昇したことは評価できる。しかしながら、先進的な取組の成果が十分具体化し結実しているとは言い難く、今後の事業の展開を期待する。
- **実施体制**：学長のリーダーシップの下、「ダイバーシティ&インクルージョン」を経営戦略として位置付ける方針を明確にし、総務担当理事と研究・国際担当理事が協働して事業を推進する全学的な体制を確立したことは評価できる。
- **今後の進め方**：学系ごとに数値目標を策定し、その妥当性の検証・再設定を行い、全学としての数値目標の達成を図る計画は評価できる。多面的に様々な取組が進められているが、補助期間終了後、実施期間終了後に、持続可能な取組としてどのように展開するか、また、女性・若手研究者の機関への定着をどう図るか検討することを期待する。